



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社ホクリヨウ 上場取引所 東  
 コード番号 1384 URL https://www.hokuryo.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 大介  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 松岡 昌哉 TEL 011-812-1131  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	18,901	6.0	2,245	70.2	2,316	67.4	1,656	122.2
2023年3月期	17,823	16.0	1,318	50.1	1,383	46.8	745	△37.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	195.81	—	14.4	13.4	11.9
2023年3月期	88.13	—	7.1	8.5	7.4

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(注) 「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	17,764	12,318	69.3	1,456.27
2023年3月期	16,849	10,746	63.8	1,270.49

(参考) 自己資本 2024年3月期 12,318百万円 2023年3月期 10,746百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	3,376	△1,282	△722	3,900
2023年3月期	2,519	△1,820	△19	2,528

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	169	22.7	1.6
2024年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	338	20.4	2.9
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00		35.2	

## 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,180	1.5	1,370	△39.0	1,430	△38.3	960	△42.0	113.49

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	8,459,000株	2023年3月期	8,459,000株
2024年3月期	82株	2023年3月期	82株
2024年3月期	8,458,918株	2023年3月期	8,458,948株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況

(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

当事業年度における日本経済は、個人の豊かさに直結する実質賃金は今年3月まで24か月連続で前年同月比マイナスを記録しているものの、インバウンド需要の復活や堅調な企業業績を背景とした株価の上伸などようやく成長への力強い足音が感じられるようになってきました。その一方で国際情勢は依然として終結の目途が立たないロシアによるウクライナ侵攻に加え、ガザ地区で始まったイスラエルとパレスチナ人の紛争など、より不安定になってきています。

鶏卵業界におきましては、一昨年秋より全国に広がった鳥インフルエンザ感染により1,700万羽近い採卵鶏が殺処分され、全国で「卵ショック」と言われる極端な卵不足が起きました。鶏卵相場はこの影響を受け、昨年秋までは比較的高水準で推移していましたが、採卵鶏の再導入が進んだ秋以降は下落局面に入り、当事業年度平均鶏卵相場は、北海道Mサイズが1キロ295円66銭と前年比15円46銭高、東京Mサイズは1キロ276円49銭と前年比25円75銭高となりました。

当社は下落する鶏卵相場、昨年4月の当社千歳農場における鳥インフルエンザ発生による生産減、円安を背景に高止まりする飼料価格に対応するため、差別化卵の拡販に注力してきました。この結果、当事業年度の業績は、売上高は18,901百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は2,245百万円（前年同期比70.2%増）、経常利益は2,316百万円（前年同期比67.4%増）、当期純利益は1,656百万円（前年同期比122.2%増）となりました。

なお、当社は鶏卵事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### （2）当期の財政状態の概況

#### （資産）

当事業年度末における資産合計は、前事業年度末に比べて915百万円増加し17,764百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて581百万円増加し6,344百万円となりました。これは、主として現金及び預金が1,371百万円増加した一方で、未収入金が839百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて334百万円増加し11,419百万円となりました。これは、主として建物が117百万円、機械及び装置が226百万円、投資有価証券が109百万円それぞれ増加した一方で、建設仮勘定が177百万円減少したこと等によるものです。

なお、当事業年度において実施いたしました設備投資の総額は1,240百万円であります。これらの資金は自己資金でまかなっております。

#### （負債）

当事業年度末における負債合計は、前事業年度末に比べて655百万円減少し5,446百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて339百万円減少し3,649百万円となりました。これは、主として買掛金が73百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が227百万円、未払法人税等が213百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて316百万円減少し1,796百万円となりました。これは主として長期借入金が302百万円減少したこと等によるものです。

#### （純資産）

当事業年度末における純資産合計は、前事業年度末に比べて1,571百万円増加し12,318百万円となりました。これは、剰余金の配当を169百万円計上したものの、当期純利益を1,656百万円計上し、その他有価証券の評価差額金が84百万円増加したことによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前事業年度末に比べて1,371百万円増加し、3,900百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、3,376百万円の収入（前事業年度は2,519百万円の収入）となりました。これは主として、税引前当期純利益2,384百万円、減価償却費1,036百万円、補助金の受取額493百万円等による資金の増加が、法人税等の支払額894百万円等による減少を上回ったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、1,282百万円の支出（前事業年度は1,820百万円の支出）となりました。これは主として有形固定資産の取得1,235百万円等による資金の減少等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、722百万円の支出（前事業年度は19百万円の支出）となりました。これは主として長期借入金の返済529百万円、配当金の支払169百万円等による資金の減少によるものであります。

## (4) 今後の見通し

鶏卵コストの半分を占める飼料価格は今年の第1四半期（4月～6月）は値下げとなりましたが、飼料安定基金からの補填金額がなくなるため当社を含めたエンドユーザーの実質飼料コストは前年同期対比で上がっております。さらに「24年問題」と言われる物流費の高騰やベースアップ等による人件費の上昇がコストアップ要因となっています。需給面では殺処分された鶏の再導入が進み、全国的に卵供給力がほぼ回復する一方で需要の半分を占める業務用需要の回復が遅れており、相場は今年秋までは軟調に推移すると予想しております。

当社としては引き続きコスト転嫁に注力し、翌事業年度における売上高は19,180百万円、営業利益は1,370百万円、経常利益は1,430百万円、当期純利益は960百万円を予想しております。

なお、翌事業年度の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はウクライナ、中東情勢、鳥インフルエンザの影響等、今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、業績と企業体質の強化を総合的に勘案し、安定した配当を実施することを基本方針としております。また、当社の剰余金の配当は、年1回の期末配当を基本方針としております。

内部留保資金については、企業体質の強化、生産設備・製造設備の強化、将来の事業活動強化を中心とした有効投資に備える予定であります。

上記方針に基づき、当事業年度の剰余金の期末配当につきましては、1株当たり40円とすることを本日（5月14日）の取締役会にて決議いたしました。

また、次期配当につきましては、1株当たり年間配当は40円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性等を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,528	3,900
受取手形	12	5
売掛金	1,882	1,872
商品及び製品	104	118
仕掛品	17	17
原材料及び貯蔵品	210	180
前払費用	28	113
未収入金	968	129
その他	8	6
流動資産合計	5,763	6,344
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,936	13,365
減価償却累計額	△6,088	△6,398
建物(純額)	6,848	6,966
構築物	1,272	1,341
減価償却累計額	△880	△935
構築物(純額)	392	406
機械及び装置	8,089	8,256
減価償却累計額	△7,026	△6,966
機械及び装置(純額)	1,063	1,290
車両運搬具	193	222
減価償却累計額	△177	△196
車両運搬具(純額)	15	25
工具、器具及び備品	244	273
減価償却累計額	△196	△216
工具、器具及び備品(純額)	48	57
土地	1,355	1,377
リース資産	19	19
減価償却累計額	△8	△11
リース資産(純額)	11	7
建設仮勘定	359	181
有形固定資産合計	10,093	10,311
無形固定資産		
ソフトウェア	53	49
その他	9	9
無形固定資産合計	62	58
投資その他の資産		
投資有価証券	436	545
出資金	0	0
長期前払費用	0	1
繰延税金資産	299	227
その他	192	274
投資その他の資産合計	929	1,049
固定資産合計	11,085	11,419
資産合計	16,849	17,764

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
電子記録債務	271	234
買掛金	1,616	1,689
1年内返済予定の長期借入金	529	302
リース債務	23	23
未払金	486	478
未払費用	22	24
未払法人税等	575	362
前受金	0	1
預り金	15	34
賞与引当金	115	149
役員賞与引当金	28	34
設備関係支払手形	175	172
その他	127	142
流動負債合計	3,988	3,649
固定負債		
長期借入金	1,730	1,428
リース債務	48	25
退職給付引当金	156	158
役員退職慰労引当金	91	97
資産除去債務	76	77
その他	10	10
固定負債合計	2,113	1,796
負債合計	6,102	5,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,055	1,055
資本剰余金		
資本準備金	754	754
資本剰余金合計	754	754
利益剰余金		
利益準備金	58	58
その他利益剰余金		
別途積立金	4,400	4,400
繰越利益剰余金	4,368	5,856
利益剰余金合計	8,827	10,314
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,636	12,123
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	110	195
評価・換算差額等合計	110	195
純資産合計	10,746	12,318
負債純資産合計	16,849	17,764

## (2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	17,823	18,901
売上原価		
商品及び製品期首棚卸高	94	104
当期商品仕入高	311	490
当期製品製造原価	14,400	14,498
合計	14,806	15,093
他勘定振替高	1	2
商品及び製品期末棚卸高	104	118
売上原価合計	14,700	14,972
売上総利益	3,123	3,928
販売費及び一般管理費		
役員報酬	106	107
給料・雑給及び手当	248	259
賞与	44	45
法定福利費	59	65
賞与引当金繰入額	28	36
役員賞与引当金繰入額	28	34
退職給付費用	7	8
役員退職慰労引当金繰入額	7	6
運賃諸掛	792	839
広告宣伝費	16	14
支払手数料	74	79
減価償却費	49	46
卵価安定基金支払	154	83
卵価安定基金収入	—	△159
その他	187	216
販売費及び一般管理費合計	1,805	1,683
営業利益	1,318	2,245
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	10
仕入割引	27	22
受取賃貸料	29	34
その他	11	17
営業外収益合計	79	84
営業外費用		
支払利息	5	4
賃貸費用	8	8
その他	0	—
営業外費用合計	14	12
経常利益	1,383	2,316

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	—	1
保険解約返戻金	65	—
受取保険金	201	15
補助金収入	655	187
卵価安定基金返還額	106	—
その他	—	25
特別利益合計	1,028	229
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	132	64
減損損失	1,069	—
鳥インフルエンザによる損失	—	86
その他	1	10
特別損失合計	1,203	161
税引前当期純利益	1,209	2,384
法人税、住民税及び事業税	700	686
法人税等調整額	△236	41
法人税等合計	464	728
当期純利益	745	1,656

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			利益剰余金合計			
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	1,055	754	754	58	4,400	3,750	8,208	△0	10,017	
当期変動額										
剰余金の配当						△126	△126		△126	
当期純利益						745	745		745	
自己株式の取得								△0	△0	
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	618	618	△0	618	
当期末残高	1,055	754	754	58	4,400	4,368	8,827	△0	10,636	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	136	136	10,154
当期変動額			
剰余金の配当			△126
当期純利益			745
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△26	△26	△26
当期変動額合計	△26	△26	592
当期末残高	110	110	10,746

当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計			
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	1,055	754	754	58	4,400	4,368	8,827	△0	10,636	
当期変動額										
剰余金の配当						△169	△169		△169	
当期純利益						1,656	1,656		1,656	
自己株式の取得										
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	1,487	1,487	—	1,487	
当期末残高	1,055	754	754	58	4,400	5,856	10,314	△0	12,123	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	110	110	10,746
当期変動額			
剰余金の配当			△169
当期純利益			1,656
自己株式の取得			—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	84	84	84
当期変動額合計	84	84	1,571
当期末残高	195	195	12,318

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	1,209	2,384
減価償却費	1,139	1,036
減損損失	1,069	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6	34
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5	5
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9	2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7	6
受取利息及び受取配当金	△10	△10
支払利息	5	4
固定資産売却損益 (△は益)	—	△1
固定資産除却損	132	64
保険解約返戻金	△65	—
受取保険金	△201	△15
補助金収入	△655	△187
卵価安定基金返還額	△106	—
鳥インフルエンザによる損失	—	86
売上債権の増減額 (△は増加)	△535	16
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△56	17
仕入債務の増減額 (△は減少)	370	36
その他	△29	267
<b>小計</b>	<b>2,269</b>	<b>3,748</b>
利息及び配当金の受取額	10	10
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額	△306	△894
保険金の受取額	201	15
補助金の受取額	349	493
鳥インフルエンザによる損失の支払額	—	△18
その他	—	25
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,519</b>	<b>3,376</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,920	△1,235
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△11	△16
投資有価証券の取得による支出	△10	△4
投資有価証券の売却による収入	10	10
差入保証金の回収による収入	—	1
保険積立金の解約による収入	65	—
子会社の清算による収入	178	—
その他	△131	△37
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,820</b>	<b>△1,282</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	700	—
長期借入金の返済による支出	△569	△529
リース債務の返済による支出	△23	△23
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△126	△169
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△19</b>	<b>△722</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	679	1,371
現金及び現金同等物の期首残高	1,849	2,528
現金及び現金同等物の期末残高	2,528	3,900

(5) 財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(持分法損益等)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、「鶏卵事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,270.49円	1,456.27円
1株当たり当期純利益	88.13円	195.81円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益 (百万円)	745	1,656
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (百万円)	745	1,656
普通株式の期中平均株式数 (株)	8,458,948	8,458,918

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	10,746	12,318
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	10,746	12,318
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	8,458,918	8,458,918

(重要な後発事象)  
該当事項はありません。